

## ■2026 年度 S 日程 法曹コース特別選抜入学試験・卒業見込者特別入学試験

### 「小論文」問題の出題趣旨・解説

#### 【出題趣旨】

出生前検査が行われている現状に関して筆者が抱く問題意識及び主張を正確に読み取ったうえで、自らの意見を論じさせることにより、法曹を目指すために必要な読解力、思考力および論理的・説得的に論述する能力を問うものである。

#### 【解説】

##### 1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

##### 2 「問」について

著者は、自らのアイデンティティの一部が中絶の理由とされる人たちに対して説明することもできないまま、産んで育てることが困難な環境のなかで出生前検査がなし崩し的に提供されているという現状に関して、障害当事者の尊厳を守る公共性と公平性が担保された報道と法整備の必要性を指摘し、不可避のケア労働である「依存労働」について社会におけるその位置付けを見直す必要があると論じている。論旨を正確に読み取ったうえで、提起された問題点及び著者の主張について自由な観点から検討させる問いであり、法曹を目指すために必要な読解力、思考力が求められる。

以 上